

学校だより

川中 TIMES

Trying for your dreams

佐賀市立川副中学校

学校通信 第6号

令和6年6月11日

文責 校長 馬郡直樹

中体連大会 コンクール等 各部長からの抱負

6月29日（土）から、佐賀市中学校総合体育大会（中体連大会）や各種コンクールが始まります。昨年度から中体連大会では、競技によってクラブチームの参加も認められ、本校の生徒もクラブチームで県大会予選に出場する生徒もいます。3年生にとっては、部活動の集大成である大会・コンクールになると思います。今回は、中体連大会やコンクールに臨む各部活動の代表に「大会への抱負」取材しました。ラグビー部、軟式野球部、吹奏楽部等については次回号で掲載します。

美術 KRさん

私達美術部は、美術部展に出展します。この展覧会では、たくさんの方に絵を見ていただくことができるので、部員同士アドバイスを出し合いながら制作をしています。特に3年生はこの展覧会が最後の活動になるので、昨年よりもクオリティをあげて、たくさんの人の心に残るような作品を制作していきます。

女子バレーボール HYさん

私たちは、中体連で県優勝を目指し日々の練習に取り組んでいます。これまでの県大会では思うように結果を残すことができず、悔しい思いをしてきました。この悔しさを忘れず、残りの期間では、みんなでしっかり声を出し、一人一人が支え合いながら個人としてもチームとしても、もっと向上していけるようにがんばっていきます。本番ではコミュニケーションを大切に、全力で臨みます。

女子ソフトテニス TMさん

私たちは、市中体連の団体の優勝し、九州大会出場を目標に日々の練習に取り組んでいます。新人戦やこれまでの大会では悔しい結果になることが多かったのですが、この悔しさを糧に、練習では一球一球を大切に改善点を見直し、得意なところを伸ばしていきます。本番では、一人一人が責任をもち、みんなで声を出してそれぞれがベストを尽くしてよい雰囲気です。

女子バスケットボール TMさん

私達の目標は、市中体連でベスト8に入ることです。私達は今まで、基本的なことを当たり前にできるチームを目指してきました。最初はできないことが多く悔しい経験もたくさんしてきました。ですが、今までは全員が声を出し、協力してチームプレーができるようになってきています。中体連本番までの練習期間は少なくなり、緊張と不安がありますが、最後まで私達らしくバスケットを楽しみたいです。

男子バスケットボール KGさん

僕たち男子バスケットボール部は、県大会ベスト8を目標に日々の練習に取り組んでいます。去年の市新人戦では3位を獲得することができました。もっと頑張らないと目標の達成は難しいと思います。中体連まで残り少ないですが、全員が一丸となって目標に向かって練習に取り組めます。試合では声を掛け合い、仲間を信じて全力で戦い、今まで支えてくださった先生方、保護者の方に恩返しができるように、一生懸命頑張ります。

私達ソフトテニス部は、2年生12人、1年生5人の計17人で活動しています。3年生はいませんが、中体連ではこれまで練習してきた成果を発揮し、個人では2回戦突破、団体では1回戦突破を目標にし、中体連に挑みたいです。相手は3年生ですが、目標に向かって最後まであきらめない試合をし、悔いの残らないよう楽しんで試合をしたいです。

私達女子卓球部は、中体連県大会出場を目標とし、日々の練習に励んでいます。未経験者が多く、最初はできないことが多かったですが、コーチや先輩に教えてもらいながら、技術を向上させてきました。日々の練習では、わからないところはお互いに教え合いながら、協力して取り組んでいます。中体連では、一人一人が声を出し、練習してきたことを発揮できるように頑張ります。

男子卓球は、他校との練習試合を通して、自分の悪かったところや苦手なところなどを見つけて、そこを少しでも改善していけるように、日々の練習を頑張っています。中体連での目標は、市大会を突破し、県大会に出場することです。

また今年で引退なので、親や周りの人々への感謝の気持ちを持ち、悔いの残らないプレーができるように精一杯頑張ります。

陸上競技部は、中体連で一人一人の種目で決勝に残り、九州大会出場、自己ベスト更新を目標にしています。練習ではきついこともあります、みんなで声をかけあいながら頑張っています。中体連まで残り1か月となりました。陸上競技は0.1秒、1cmを争う競技なので、練習のときから1分1秒を無駄にせず、真剣に取り組み、中体連に臨みたいと思います。3年生にとっては最後の中体連なので、最後まで諦めずに走り抜けます。

全校集会において、集大成となる大会等へどう臨むかについて、話をしました。以下は話の概要です。

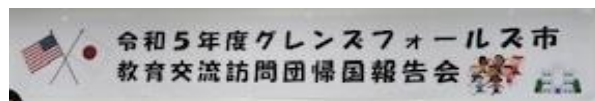
必要なことは、「120%の準備と力を発揮すること」、最後は気持ち(心)が大事。力を発揮できるのは、心が整った時。試合や練習中、喜びと落ち込みの差が大きい人はコントロールが必要かも。「負けている時こそ笑顔で！」

緊張は誰でもするもの。試合を楽しみ、その場にいることへの感謝や、支えてくれた人達への感謝の気持ちをもって臨めば、緊張は自然と薄らいでいく。最後の大会は、相手に勝つことを考えすぎず、カメの気持ちになって、自分のできることをしっかりやるのみ。最高の大会・コンクールにしてほしいと思います。

6月に入り、梅雨入り間近のようです。雨天時は保護者の方などによる自家用車での送迎が多くなり、登下校時における学校前の道路での乗降は事故の危険性を高めます。

つきましては、生徒の送迎時の乗降については、かわそえパークの駐車場でお願いします。なお、ケガや病気等の生徒の送迎は校内へ乗り入れていただいても構いません。その際は細心の注意を払い、徐行運転をお願いします。

川中 TIMES 第5号に記載の黄分団3年生リーダーのコメントは「NHさん」からのものでした。



2年のI Sさんが3月23日から4月2日にアメリカ合衆国ニューヨーク州グレンズフォールズ市を佐賀市教育交流訪問団の一員として訪問し、その報告会が5月25日（土）に開催されました。滞在中の現地での生活の様子や現在でもホームステイ先の中学生と連絡を取っていることなどについてすばらしい発表でした。チャレンジすることの大切さを改めて実感しました。